

令和4年度使用
中学校用教科用図書「社会（歴史的分野）」
採択参考資料

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	歴史 705
17 教出	歴史 706
46 帝国	歴史 707
81 山川	歴史 708
116 日文	歴史 709
225 自由社	歴史 710
227 育鵬社	歴史 711
229 学び舎	歴史 712

社 会

(歴史的分野)

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

歴史的分野

2 東書 17 教出 46 帝国 81 山川 116 日文 225 自由社 227 育鵬社
229 学び舎

2 調査研究の観点

- (1) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容であるか。
- (2) 地域の実情に応じた学習を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 表記や表現、各種の資料が適切であり、資料が活用されやすいよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)
 - ① 総頁数・サイズ
 - ② 単元別頁数
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること…………… 観点(1)
- (3) 課題解決的な学習の充実に関すること…………… 観点(2)(3)
- (4) 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること…………… 観点(1)(2)(3)
 - ① 伝統・文化等に関する学習の充実
 - ② 主権者教育等の改善・充実
 - ③ 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実
 - ④ グローバル化等への対応
- (5) 教材や資料の選択に関すること…………… 観点(2)(4)

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	308
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史へのとびら」	12
「古代までの日本」	44
「中世の日本」	36
「近世の日本」	50
「開国と近代日本の歩み」	58
「二度の世界大戦と日本」	44
「現代の日本と私たち」	32
その他	32

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「チェック&トライ」で示されている。
- 全ての単元において、「導入の活動」が設けられている。
- 「身近な地域の歴史」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 全ての単元において、技能の習得に関して「スキル・アップ」が設けられている。
- 巻末に用語の解説がまとめて示されている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人名さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、「見方・考え方」が設けられ、それに関連させた課題が示されている。
- 全ての単元において、対話的な活動をするコーナーとして「みんなでチャレンジ」が設けられている。
- 章末の「××の学習を振り返ろう」(××は古代などの時代区分)には、章の始めに示された「探究課題」に関連した節ごとの課題として「探究のステップ」が設けられている。また、章末には「探究課題」を解決するための問いが設けられて、思考ツールを使った解決方法が示されている。
- 「もっと歴史」「地域の歴史を調べよう」「資料から発見」「歴史に学び、未来へと生かそう」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「東アジアとの交流」「琉球王国やアイヌ民族との関係」「国境と領土の確定」、特設ページ「もっと歴史『東アジア世界の国々の交流と琉球文化』」「もっと歴史『アイヌ文化とその継承』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャ・ローマの文明」で取り上げられている。
- 市民革命については、「イギリスとアメリカの革命」「フランス革命」「ヨーロッパにおける国民意識の高まり」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「立憲制国家の成立」「大正デモクラシーと政党内閣の成立」「民主化と日本国憲法」「持続可能な社会に向けて」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、特設ページ「もっと歴史『震災の記憶を語りつぐ』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「国境と領土の確定」「領土をめぐる問題の背景」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「モンゴル帝国とユーラシア世界」「モンゴルの襲来」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「中世ヨーロッパとイスラム世界」「ルネサンスと宗教改革」「ヨーロッパ世界の拡大」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「欧米のアジア進出」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「冷戦後の国際社会」「持続可能な社会に向けて」、特設ページ「もっと歴史『日本のエネルギーのこれまで』」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した年表を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「時代スケール」が左下に設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入力されている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	318
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史のとらえ方・調べ方」	16
「原始・古代の日本と世界」	42
「中世の日本と世界」	36
「近世の日本と世界」	50
「日本の近代化と国際社会」	62
「二度の世界大戦と日本」	46
「現代の日本と世界」	36
その他	30

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認」「表現」で示されている。
- 全ての単元の始めに、「学習をはじめよう」が設けられている。
- 「身近な地域の歴史を調べよう」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、用語の解説が設けられている。
- 全ての単元において、学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「歴史の技」「読み解こう」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人物さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史の見方・考え方と学習の進め方に関するページとして、「歴史にアプローチ」が設けられている。
- 全ての単元において、歴史的な見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての単元において、キャラクターの吹き出しで章の問いが示され、節の問い、各見開きの「学習課題」、節末に「□節をとらえる」(□は章の数字)と章末の「学習のまとめと表現」が、それぞれ設けられている。
- 全ての単元において、グループで話し合い等を行う課題が設定されている。
- 「歴史を探ろう」や「身近な地域の歴史を調べよう」「歴史学習の終わりに」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「楽浪の海中に倭人あり」「北と南で開かれた交易」「琉球・蝦夷地を通じた国際関係」「形づくられる日本」、特設ページ「歴史を探ろう『琉球とアイヌの文化を伝えた人たち』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「すべての道はローマに通ず」で取り上げられている。
- 市民革命については、「王は君臨すれども統治せず」「代表なくして課税なし」、特設ページ「歴史を探ろう『国民国家の成立』」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「憲法の条規により之を行う」「デモクラシーのうねり」「敗戦からの再出発」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「私たちの生きる時代へ」「歴史学習の終わりに『災害の歴史を学ぶ・伝える』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「形づくられる日本」「独立の回復」、特設ページ「歴史を探ろう『隣国と向き合うために』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「大陸をまたぐ大帝国」「海から押し寄せる元軍」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「中世からの脱却」「太陽の沈まない国」、特設ページ「歴史を探ろう『銀で結びつく世界』」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「国をゆるがす綿とアヘン」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「民主化のうねりと国際社会の変化」「未来をひらくために」「歴史学習の終わりに」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した「年表」を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「時代スケール」がタイトル上部に設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	310
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史のとらえ方と調べ方」	13
「古代国家の成立と東アジア」	44
「武家政権の成長と東アジア」	36
「武家政権の展開と世界の動き」	54
「近代国家の歩みと国際社会」	62
「二度の世界大戦と日本」	46
「現在に続く日本と世界」	30
その他	25

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認しよう」「説明しよう」で示されている。
- 単元の始めに、「タイムトラベル」が設けられている。
- 「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、用語を解説する「解説」が設けられている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「技能をみがく」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人物さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、歴史的な見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての単元において、「章の問い」、「節の問い」、各項の「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「第○節の問いを振り返ろう」と章末の「章の学習を振り返ろう」が設けられている。
- 全ての単元において、「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」に対して話し合いを通して考える「ステップ」が設けられている。
- 「歴史を探ろう」や「多面的・多角的に考えてみよう」「多面的・多角的に構想する」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の学習のしかた」「タイムトラベルの学習のしかた」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「ムラがまとまりクニへ」「琉球とアイヌの人々がつなぐ交易」「琉球王国とアイヌの人々への支配」「沖縄・北海道と『近代』の波」、特設ページ「歴史を探ろう『琉球とアイヌの人々の暮らし』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャとローマの政治と文明」で取り上げられている。
- 市民革命については、「市民革命の始まり」「人権思想からフランス革命へ」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「帝国憲法の成果と課題」「社会運動の高まりと普通選挙の実現」「新時代に求められた憲法」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「コラム『未来に向けて』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「新たな外交と国境の画定」、特設ページ「歴史を探ろう『日本の領土画定と近隣諸国』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「海を越えて迫る元軍」、特設ページ「歴史を探ろう『東アジアに開かれた窓口 博多』」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ヨーロッパの変革」「大航海時代の幕開け」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「世界進出を目指す欧米諸国」「日本を取り巻く世界情勢の変化」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「グローバル化が進む世界」「激変する日本とアジア」「国際社会におけるこれからの日本」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「年表インデックス」が右端に設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	294
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史との対話」	9
「古代までの日本」	48
「中世の日本」	40
「近世の日本」	52
「近代の日本と国際関係」	58
「二つの世界大戦と日本」	42
「現在の日本と世界」	30
その他	15

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「ステップアップ」で示されている。
- 単元の始めに、帯年表とその単元に関わる写真等の資料が示されている。
- 「身近な地域を調べよう」では、テーマの決め方、調査手順、必要な技能、まとめ方、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、用語を解説する「用語解説」が設けられている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 5つ世紀の世界の様子に関する地図とイラストが設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人物さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、各項に「学習課題」が設けられている。
- 全ての単元において、各章末に「まとめ」が設けられている。
- 全ての単元において、掲載されている資料に問いが設けられている。
- 「歴史へのアプローチ」の特設ページでは、テーマ別の課題が示されている。
- 「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」の特設ページでは、グループで意見交換をする課題が示されている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「稲作の広まりと弥生文化」「江戸時代の対外関係」「明治初期の対外関係」、特設ページ「歴史へのアプローチ『琉球の歴史と文化』『アイヌ民族の歴史と文化』『札幌』『沖縄』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「地中海文明の発展」で取り上げられている。
- 市民革命については、「市民革命の時代」、特設ページ「歴史へのアプローチ『国家とは何か』」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「憲法制定と帝国議会」「社会運動の高まりと普通選挙法の制定」「占領下の日本」、特設ページ「歴史にアプローチ『第1回普通選挙の実態を探る』」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「今の日本、これからの日本」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「明治初期の対外関係」、特設ページ「歴史にアプローチ『日本の領土の変遷』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望」、特設ページ「13世紀の世界」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ルネサンスと宗教改革」「大航海時代とヨーロッパの海外進出」「ユーラシア大陸と海でつながる世界」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「欧州列強のアジア侵略」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「冷戦の終結」「今の日本、これからの日本」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した「帯年表」を設けている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、各項に見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	334
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「私たちと歴史」	8
「古代までの日本と世界」	50
「中世の日本と世界」	42
「近世の日本と世界」	52
「近代の日本と世界（日本の近代化）」	62
「近代の日本と世界（二度の世界大戦と日本）」	40
「現在の日本と世界」	38
その他	42

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認」で示されている。
- 全ての単元の始まりに、「地図で見る世界の動き」が設けられている。
- 「でかけよう地域調べ」が単元ごとに設けられ、史跡や博物館等の見学の仕方、古地図の読み取り方等が、それぞれ示されている。
- 全ての単元において、用語の解説として、「基本用語」が設けられている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「スキルUP」が設けられている。
- 巻末には、テーマ別に事項を探せる「テーマ別さくいん」、教科書で扱っている人物を探せる「人名さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 「歴史的な見方・考え方とは？」が設けられている。
- 全ての単元において、各項に「見方・考え方」が示され、「深めよう」が示されている。
- 全ての単元において、単元の学習の「めあて」が示され、各見開きの「学習課題」「確認」、各編末の「学習の整理と活用」では問いが設けられている。「学習の整理と活用」では、「アクティビティ」が示されている。
- 話合いを通して示された課題を解決する、「チャレンジ歴史」が設けられている。
- 「歴史を掘り下げる」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の構成と使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「稲作の広まりと弥生時代」「東アジアとの交流と琉球王国の成立」「隣接地域との関係とアイヌ文化の成熟」「領土の画定と隣接地域」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャ・ローマの文明」で取り上げられている。

○市民革命については、「王政から議会制へ」「アメリカの独立とフランス革命」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「藩閥政府と民党」「社会運動の広がり」「平和で民主的な国家をめざして」、特設ページ『歴史との対話』を未来に活かす課題例②『政治参加の歴史に学ぶ』で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、コラム「先人に学ぶ『私たちにできることー震災の教訓を未来に伝えるー』」、特設ページ『歴史との対話』を未来に活かす課題例①『災害の歴史に学ぶ』で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「領土の画定と隣接地域」、特設ページ「歴史を掘り下げる『冷戦終結後の近隣諸国との関係』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「元の襲来と鎌倉幕府」、特設ページ「地域にまなぶ『海底から姿を現した元の軍船』」で取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「イスラム教の世界とキリスト教の世界」「つながれてゆく世界」、特設ページ「地図で見る世界の動き『15世紀の世界と日本』」で取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「列強の動向とアジア」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「これからの世界と日本の課題」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各章の冒頭の特設ページ「地図で見る世界の動き」に学習内容の時期を示した「年表」を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「年表スケール」が右端に設けられている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

○専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	308
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史のとらえ方」	12
「古代までの日本」	50
「中世の日本」	36
「近世の日本」	44
「近代日本の建設」	62
「二つの世界大戦と日本」	44
「現在の日本と世界」	34
その他	26

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 学習課題 → 本文 → 「チャレンジ」で示されている。
- 全ての単元の始めに、「登場人物紹介コーナー」が設けられている。
- 「歴史のとらえ方」では、「地域の歴史を調べる」「人物を通して時代をとらえる」が設けられている。
- 全ての単元において、人物や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 全ての単元において、用語の解説が設けられている。
- 巻末には、「重要用語解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている事項を探せる「事項さくいん」、人物を探せる「人名さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」が設けられている。
- 「時代の特徴を考えるページ」では、「歴史用語ミニミニ辞典」の作成」「時代比較の問題」「時代区分の問題」「時代の流れを整理する問題」「人物比較の問題」「ひとこと」作文」「意見交換会」が設けられている。
- 全ての単元において、歴史的な見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての単元において、歴史の見方に関する読み物が設けられている。
- 歴史学習のまとめとして、「日本の歴史の特色は何か」について、6つの課題が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書で使うマークとロゴの紹介」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「東アジアとの貿易と交流」「鎖国日本の4つの窓口」「農業・産業・交通路の発達」「近隣諸国との国境画定」、特設ページ「琉球処分とは何か」「日本の近代化とアイヌ」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャ・ローマの文明」で取り上げられている。
- 市民革命については、「イギリスの市民革命とアメリカの独立」「啓蒙思想とフランス革命」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「大日本帝国と立憲国家」「政党政治の展開と社会運動」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「日米関係とワシントン会議」、「世界の新たな激震と自然災害との戦い」、特設ページ「世界を驚かせた日本人 東日本大震災」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「神話が語る国の始まり」「近隣諸国との国境画定」「独立の回復と領土問題」で取り上げられている。「近隣諸国との国境画定」「独立の回復と領土問題」では、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「モンゴル帝国と世界史の成立」「元寇」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ルネサンスと宗教改革」「ヨーロッパ人の世界進出」「ヨーロッパ人の来航」、特設ページ「宣教師が見た日本」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「欧米諸国の日本接近」「欧米列強のアジア進出」、特設ページ「明治維新とは何か」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「世界の激震と日本」「冷戦の終結と国内政治の変化」「世界の新たな激震と自然災害との戦い」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章で見出しやページ横のインデックスの色が統一されている。
- 各単元の左下端に、その単元で扱うおよその時代を示した「歴史モノサシ」がある。
- 各章の初めのページに学習の流れを示した「予告編」を、各章の末尾に学習内容を振り返る「対話とまとめ図のページ」を設けている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	318
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史探検！歴史の流れと先人の活躍」	11
「原始と古代の日本」	50
「中世の日本」	34
「近世の日本」	52
「近代の日本と世界」	60
「二度の世界大戦と日本」	42
「現在の日本と世界」	33
その他	36

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「学習のまとめ」で示されている。
- 全ての単元のはじめに、鳥の目で歴史を大観する「歴史絵巻」と「虫の目で見ると××」(××は古代などの時代区分)が設けられている。
- 「地域の歴史を調べてみよう」では、調査のしかた、必要な技能、調査のまとめ方、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 全ての単元において、用語の解説が設けられている。
- 古代から近代の単元において、各章末に「なでしこ日本史」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人名さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、章末の「××の時代をふり返って考えてみよう」(××は古代などの時代区分)では、問いが設けられている。
- 全ての単元において、歴史的な見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての単元において、「歴史のターニングポイント」が設けられ、グループやクラスで話し合うための課題が示されている。
- 全ての単元において、「私の歴史博物館をデザインしてみよう」が設けられている。
- 「歴史ズームイン」や「このころ世界は」の特設ページが設けられている。
- 歴史学習のまとめとして、「歴史新聞をつくろう」「日本の歴史を大観する」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「稲作・弥生文化と邪馬台国」「琉球、アイヌとアジアの交易」「『鎖国』時代にかかれていた窓口」、「明治初期の外交と国境の画策」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャとローマの文明」、特設ページ「このころ世界は『ローマ帝国と日本の古墳時代』」で取り上げられている。

○市民革命については、「市民革命と近代社会の成立」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「大日本帝国憲法の制定と帝国議会」「大正デモクラシーと政党政治」「占領下の日本と日本国憲法」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、「日本の現状とこれから」、特設ページ「歴史ズームイン『震災の日本史』」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「明治初期の外交と国境の画定」「日本の現状とこれから」、特設ページ「歴史ズームイン『わが国の領土をめぐる問題の歴史－近隣諸国との課題－』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「元寇と鎌倉幕府のおとろえ」、特設ページ「このころ世界は『ユーラシアを一つにつないだモンゴル』」で取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ヨーロッパ人の世界進出」、特設ページ「このころ世界は『ルネサンスと宗教改革』」で取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「欧米列強のアジア進出」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「地域紛争とグローバル化」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各章の扉ページに学習内容の時期を示した「年表モノサシ」を設けている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	308
サイズ	A4判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史への案内」	6
「文明のはじまりと日本列島」	26
「日本の古代国家」	18
「武士の世」	32
「世界がつながる時代」	20
「百姓と町人の世」	30
「世界は近代へ」	24
「近代国家へと歩む日本」	22
「帝国主義の時代」	30
「第二次世界大戦の時代」	34
「現代の日本と世界」	36
その他	30

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 で示されている。
- 章のはじめに、北極を中心とした地図とテーマに沿った写真等の資料が示されている。
- 人物調べについて、調べる人物の決め方、調べ方、まとめ方等について示されている。
- 全ての単元において、学習内容に関するコラムが設けられている。
- 全ての単元において、用語の解説が設けられている。
- 年表には、時代区分に「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄が設けられている。
- 巻末の「歴史地図（日本）」には、千島列島から南西諸島に至る地域が示されている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物や事項を探せる「索引」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、「××の学習課題」（××は古代などの時代区分）、各項の「学習課題」が設けられている。
- 全ての単元において、各章末に「第□章をふりかえる」（□は数字）が設けられている。
- 全ての単元末に設けられている「第□部××学習のまとめ」（××は古代などの時代区分）では、グループやクラスで話し合う課題が示されている。
- 「歴史を体験する」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「稲作がはじまる」「アジアの海をつなぐ王国」「北の海から来た昆布」「江戸に行く朝鮮通信使」「北・南を組み込み、国境を引く」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「円形競技場の熱狂」で取り上げられている。

○市民革命については、「アメリカの大地に生きる」「バスチーユを攻撃せよ」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「天皇主権の憲法」「デモクラシーの波」「焼け跡からの出発」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、「3月11日午後2時46分」「未来は私たちの手の中に」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「北・南を組み込み、国境を引く」「インドも中国も来なかった」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「一つにつながるユーラシア」、第3章扉ページで取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「インドに出現した船隊」「大西洋の東と西で」、第4章扉ページで取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「インド大反乱と太平天国」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「未来は私たちの手の中に」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各章の扉ページに学習内容の時期を示した「年表インデックス」を設けている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

○インターネット検索を補助する検索ワードを掲載している。

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。